

○動物クイズをしよう

- ・児童が動物のジェスチャーをして、何の動物かを当てる。

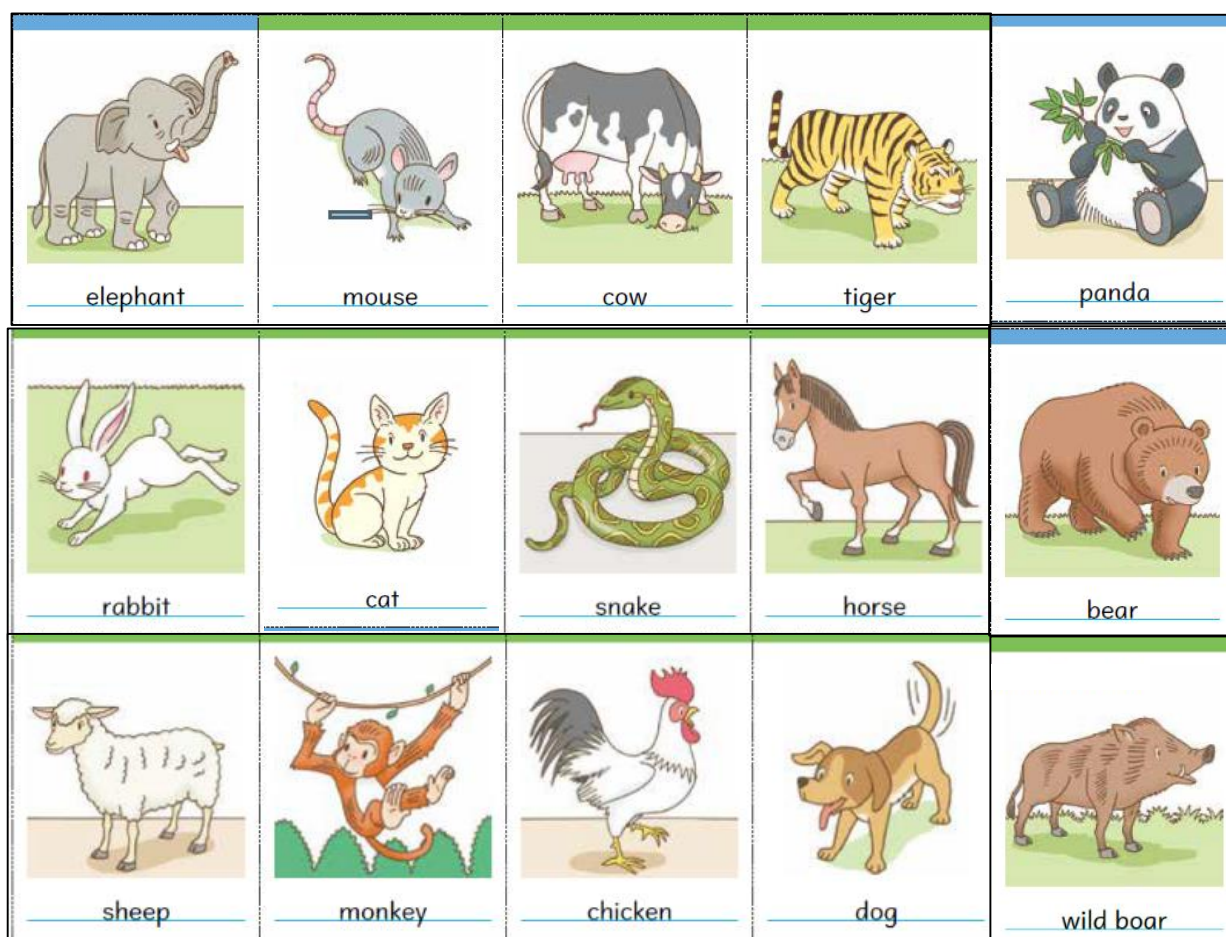
○学習過程（20分程度）

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点
	担任等	A L T 等	
1 Pointing Game 教師が言った動物を指さす。	HRT：グループで動物クイズをします。まず、ワークシートで動物の言い方を確認しましょう。 ALT の先生が言った動物の絵を指さします。		●準備物 ●ワークシート
①ALT が言った言葉をリピートしながら指さす。		－handout worksheets. －choose a sport and pronounce it.	※ALT が動物名を言い、何度も発音を聞かせる。
② “It’s a bear.” など文をリピートしながら指さす。	① ALT：Panda. SS：Panda.！（指さす）		※単純なリピートから受け答えへと次第に難易度を上げていくことで、児童の意欲や思考力を高めていく。
③ALT が “What’s this?” と言って指さした言葉を児童が “It’s a ○○.” と答える。	② ALT：It’s a monkey. SS：It’s a monkey.（指さす）		
	③ ALT：What’s this?（指さす） SS：It’s a tiger.		
2 Animal Gesture Quiz	HRT：グループで動物クイズをします。動物のジェスチャーをして、何の動物かクイズを出しましょう。先生が見本を見せます。		※クイズで使用する表現を練習する。 “What’s this?” “It’s a ○○.”
①教師がデモンストレーションをする。		－show children a demonstration with HRT.	※ジェスチャーや鳴き声などで動物を表現させる。
②4～5人のグループになり、一人ずつクイズを出題する。	HRT：What’s this?（ジェスチャーをする） ALT：It’s a cat. HRT：That’s right!		
③クイズを出す人は “What’s this?” と言って、動物のジェスチャーをする。	ALT：Let’s play animal quiz! Please make small groups. HRT：4～5人のグループになります。		
④分かった人は手を挙げて答える。		－praise children.	※動物名はできるだけ英語で答えさせる。
3 Reflection 活動を振り返る。	－上手に伝えていた児童を紹介する。		※ジェスチャーが上手, “It’s a ○○.” と文で答えていた, など児童のよかった点を褒める。
	HRT：今日はいろいろな動物の言い方を覚えでしたね。クイズ大会で使えるといいですね。		※本時の学習内容を振り返らせ、最後の活動のイメージを持たせる。

動物の言い方になれよう

3年 組 番 名前

1 先生が言った動物を指さしましょう。



2 グループで動物クイズをしましょう。

ルール

- ①一人ずつじゅんばんにクイズを出す。
- ②クイズを出す人はジェスチャーや鳴き声などでカードに書かれた動物のまねをする。
- ③答える人は、手をあげて答える（答えるチャンスは1人1回）。

○キャラクターを紹介しよう

・シンボルカラーを通して、戦隊物やアニメのヒーロー（キャラクター）について紹介する。

○学習過程（8分程度）

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点 ●準備物
	担任等	A L T 等	
Small Talk シンボルカラーを通して、A L T に人気のヒーローについて紹介する。	HRT : みなさん、〇〇レンジャーを知っていますか？ SS : 知ってる！ HRT : ALT の〇〇先生は知っているか聞いてみますね。〇〇先生、Do you know 〇〇レンジャー？ ALT : 〇〇レンジャー？ No, I don't. HRT : 〇〇レンジャー is a popular TV show for Japanese children. ALT : Really? I want to know 〇〇Rangers. Please tell me about it. HRT : ALT の〇〇先生は、〇〇レンジャーを知らないから、教えてほしいそうです。では、みなさんで教えてあげましょう。They have 5 colors. (赤色のカードを見せながら) What color is it? SS : 赤。 HRT : In English? SS : Red. HRT : 赤と言え？ SS : 〇〇〇！ HRT : That's right! (赤色のヒーローの写真を提示する。) The red is 〇〇〇. ALT : Oh, the red is 〇〇〇. I see. HRT : (青色のカードを見せながら) What color is it? SS : Blue. HRT : That's it. The blue is ---?		●ピクチャーカード（色，ヒーロー） ※児童の実態を踏まえて、児童に人気のヒーロー（キャラクター）を話題にする。 ※日本のヒーローを知らないA L T に、教えてあげるという場面を設定する。 ※始めに色を児童に提示し、「赤のヒーローは〇〇〇」というように、色ごとにヒーローを紹介していくようにする。
Today's Goal 本時のめあてを確認する。	HRT : これまでキャラクターの色について話してきましたが、今日は、色をヒントに果物，野菜クイズをしていきます。では、今日のめあてを確認します。		※色をヒントに果物，野菜クイズを行うことを伝える。 ●振り返りシート

○果物、野菜クイズをしよう

- ・果物や野菜について2つヒントを出し、答えを当てるクイズをする。

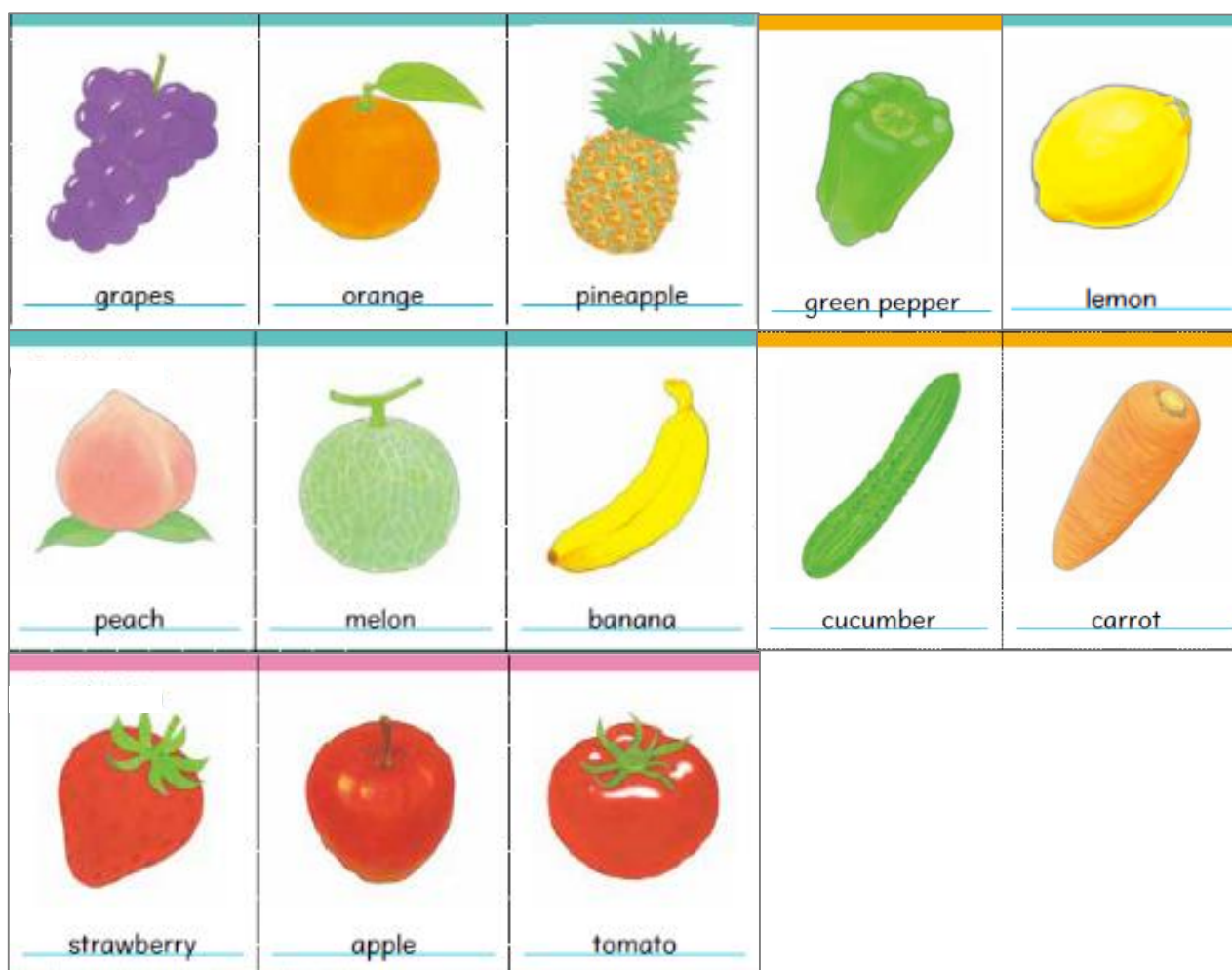
○学習過程（20分程度）

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点
	担任等	A L T 等	
1 Pointing Game 教師が言った果物、野菜を指さす。 ① A L T が言った言葉をリピートしながら指さす。 ② “It’s a tomato.” など文をリピートしながら指さす。 ③ A L T が “What’s this?” と言って指さした言葉を児童が “It’s a ○○.” と答える。	HRT : ワークシートで果物、野菜の言い方を確認しましょう。ALT の先生が言った果物、野菜の絵を指さします。 ーカードを果物と野菜に分けて黒板に貼る。 ① ALT : Apple. SS : Apple. ! (指さす) ② ALT : It’s a tomato. SS : It’s a tomato. (指さす) ③ ALT : What’s this? (指さす) SS : It’s a pineapple.		●準備物 ●ワークシート ●ピクチャーカード ※A L T が果物、野菜名を言い、何度も発音を聞かせる。 ※H R T と A L T がデモンストレーションをしながら説明する。 ※単純なリピートから受け答えへと次第に難易度を上げていくことで、児童の意欲や思考力を高めていく。
2 Fruits, Vegetable Quiz ペアで行う。出題する人は2つヒントを出す。答える人はヒントをもとに答えを考える。 ①問題を出す人は1枚カードを引く。 ②果物か野菜かについてヒントを出す。 ③色についてヒントを出す。 ④答える人は、2つのヒントから答えを予想する。	HRT : 次に果物、野菜クイズをします。先生たちがやってみるので、よく見ましょう。 ーshow children a demonstration with HRT. HRT : (カードを1枚引く) Hint 1 Vegetable. Hint 2 Green. What’s this? ALT : It’s a green pepper. HRT : No. ALT : It’s a cucumber. HRT : That’s right ! HRT : 先生はどんなヒントを出しましたか。 S1 : 野菜と色。 HRT : そうです。1つ目のヒントは果物か、野菜かを伝えます。2つ目のヒントは色を伝えます。ヒントは2つだけです。 ー例題として1, 2問クイズを出す。 隣の人にクイズを出しましょう。Make pairs.		※教師が実際にやって見せることで、活動のイメージを持たせる。 ●果物、野菜のカード (巻末のカードを使用する) ※色が分かりやすい果物や野菜を選ぶ。 ※本時では種類と色の2つのヒントに限定してクイズを行う。 ※全体でクイズのやり方を確認する。
3 Reflection 活動を振り返る。	ー種類と色だけでは答えが分かりにくいことに気付かせ、他にどんなヒントがあればよいか考えさせる。		※次時でスリーヒントクイズをすることを予告する。

くだもの、やさいクイズをしよう

3年 組 番 名前 _____

1 先生が言ったくだものややさいを^{ゆび}指さしましょう。



2 ペアでくだもの、やさいクイズをしましょう。

ルール

- ①クイズを出す人は、1枚カードを引く。
- ②1つ目のヒントは、くだものかやさいかヒントを出す。
- ③2つ目のヒントは、色のヒントを出す。
- ④答える人は、2つのヒントから答えをよそうして答える。

○ ヒントを考えよう

- ・ 教師の出したお題に合うヒントを考え、ALT にクイズを出す。

○ 学習過程 (10 分程度)

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点 ●準備物
	担任等	ALT 等	
1 Introduction 活動内容を知る。	HRT : これからみなさんに、クイズの答えとなるキーワードを教えます。みなさんは、このキーワードのヒントを考えて、ALT の〇〇先生に伝えます。そして、ALT の〇〇先生にヒントクイズを答えてもらいます。		※スリーヒントクイズの問題づくりにつながる活動に取り組ませる。
2 Exercise to make quizzes ①HRT と ALT でデモンストレーションを見せる。 ②ヒントを考えて、ALT に伝える。 ③教師が出したお題について、3 つ目のヒントを考える。	HRT : まず先生が見本を見せます。 It's a fruit It's yellow. It's sweet. ALT : It's a banana. HRT : That's right! HRT : どんなヒントがあったかな。 SS : 果物, 色, 味。 HRT : 前の時間にジャンルや色についてヒントを考えましたね。その他にもいろいろなヒントが作れそうですね。今度はみんなでヒントを考えてみましょう。 — Answer the quiz of HRT. HRT : 答えはこれです。(ピクチャーカードを見せて答えを伝える。) ヒントを思いついた人はいますか? S1 : It's an animal. S2 : It's white. S3 : It's small. HRT : Anything else? 他にどんなヒントが考えられる。 S4 : Jump. S5 : Carrot. S6 : Long ears. ALT : I got it! It's a rabbit. HRT : That's right! HRT : 動物の見た目やその動物が好きなものなどもヒントになりますね。では、2 問目です。(以下続く) — Answer the quiz of children. HRT : 先生がお題を出すので、みんなで 3 つ目のヒントを考えましょう。		●ピクチャーカード ※前時までに使用したピクチャーカードの中から出題する。 ※前時の学習を振り返らせ、1 つ目のヒントは、「動物」「果物」「野菜」等のジャンルを伝えること、2 つ目のヒントは色を伝えることを確認する。 ※3 つ目のヒントを何にするかが本時のポイントである。答えから連想されるものでもよい。 ※全体でヒントを考える際には、スリーヒントにこだわらず、思いついたヒントをどんどん出させる。
3 Reflection 活動を振り返る。	HRT : どんなことがヒントになったかな (数名に発言させる)。次の時間はクイズづくりをするので、分かりやすいヒントを考えましょう。		※1 つ目、2 つ目のヒントを確認してから、3 つ目のヒントを考えさせる。 ※本時めあてを振り返らせ、次時の見通しを持たせる。

○クイズをつくろう

- ・グループでクイズづくりをし、相手に伝わるようにクイズの出し方を工夫する。

○学習過程 (30 分程度)

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点 ●準備物
	担任等	A L T 等	
1 Introduction 活動内容を知る。	－ Hand out the worksheets.		●ワークシート ※4～5人でグループを作り，グループで相談しながらクイズを考えさせる。
	HRT：これからグループごとにクイズづくりをします。Look at the worksheet. クイズの作り方を確認します。		
2 Making quizzes グループごとに，クイズを作る。 ①ジャンルを選ぶ。 ②答えを決める。 ③色を書く。 ④形や大きさなどを書く。 ⑤スペシャルヒントを書く。	HRT：グループで，1人1つずつクイズを作りましょう。ヒントは相談して決めていいです。		※グループで1人1つクイズを作る（児童の実態によって，グループで1つとしてもよい）。 ※3つのヒントでは伝えきれないことをスペシャルヒントとして考えさせる。 ※クイズができたグループは発表の練習をさせる。
	－グループ内で問題が重複していないか確認する。	－Support children with what to say in English.	
	HRT：グループでクイズのリハーサルを行い，相手に伝わるようクイズの出し方を工夫しましょう。		
	－話す速さや声の大きさ等，伝わりやすい工夫についてアドバイスする。		
3 Reflection 活動を振り返る。	HRT：相手に伝わるようクイズの出し方を工夫できたか振り返りましょう。		※振り返りシートには，次時のクイズ大会に向けて頑張りたいことを書かせてもよい。
		－ Give some advice to the children, how they can make their speech better.	

クイズをつくろう

3年 組 番 名前

☆一人一つずつクイズをつくりましょう。ヒントはグループの人とそうだしで決めていいです。

作り方

- ①答えを決める。
- ②ヒント1のジャンルをえらぶ（1つに○をつける）。
- ③ヒント2に色を書く。
- ④ヒント3に自分で考えたヒントを書く。
- ⑤スペシャルヒントには、おまけのヒントを書く。

答え		①
ヒント1	ジャンルをえらぶ。	②動物 くだもの やさい 食べ物 その他（ ）
ヒント2	色を伝える。	③
ヒント3	自分で考えたヒントを伝える。	④
スペシャルヒント	おまけのヒントを伝える。	⑤

注意

- ・グループの中でジャンルがかたよらないようにしましょう。
- ・答えが出なかったときのために、スペシャルヒントを考えておきましょう。

○クイズ大会をしよう

- ・自分たちで考えたクイズを出し合う。【話すこと [発表]】

○学習過程 (35 分程度)

学習活動	教師の働き掛け		※指導上の留意点 ●準備物
	担任等	A L T 等	
1 Demonstration クイズの答え方を確認する。 	HRT : 今日はいよいよクイズ大会です。始めに先生とA L Tの〇〇先生で発表するので、よく見ていきましょう。 ALT : Hint1 It's an animal. Hint2 It's black. HRT : はい！はい！くま。 ALT : (Look depressed.) HRT : 今の答え方はいいですか。だめですね。どこがいけなかった。 SS : 勝手に答えた。 HRT : そうですね。答えるときは手を挙げて名前を呼ばれてから答えましょう。それから、スリーヒントクイズなので、3つのヒントを聞いてから答えましょう。		※A L Tがクイズを出題し、H R Tが悪い答え方を見せる。 ※挙手して答える、ヒントを最後まで聞いてから答える、など答え方のルールを確認する。 ※できるだけ児童から発言を引き出すようにする。
2 Quiz competition クイズ大会をする	HRT : Group 1. Please come to the front. Let's start! —発表内容や態度について評価をする。	—Support children on how to say the English. HRT : (発表を聞いて) 話す速さがちょうど良くて聞きやすい発表でしたね。	※グループごとに教室前方でクイズを発表する。 ※クラスの実態に応じて、正解したグループに1ポイントを加算し、グループ対抗にしてもよい。
3 Reflection 活動を振り返る。	HRT : 発表をして、うまくいったと思うことや、友達の発表の良かったところやまねしたいところ等を振り返りシートに書きましょう。		※発表を聞いて、発表の良かったところをフィードバックする。